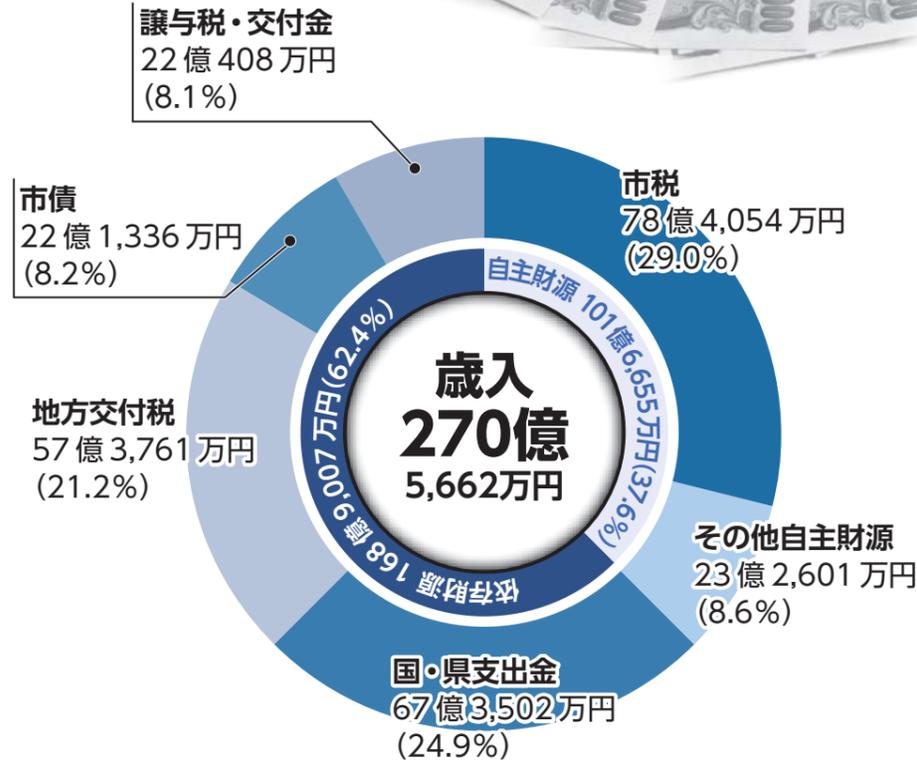


一般会計
《歳入》

収入と支出の差額は
どうするの？

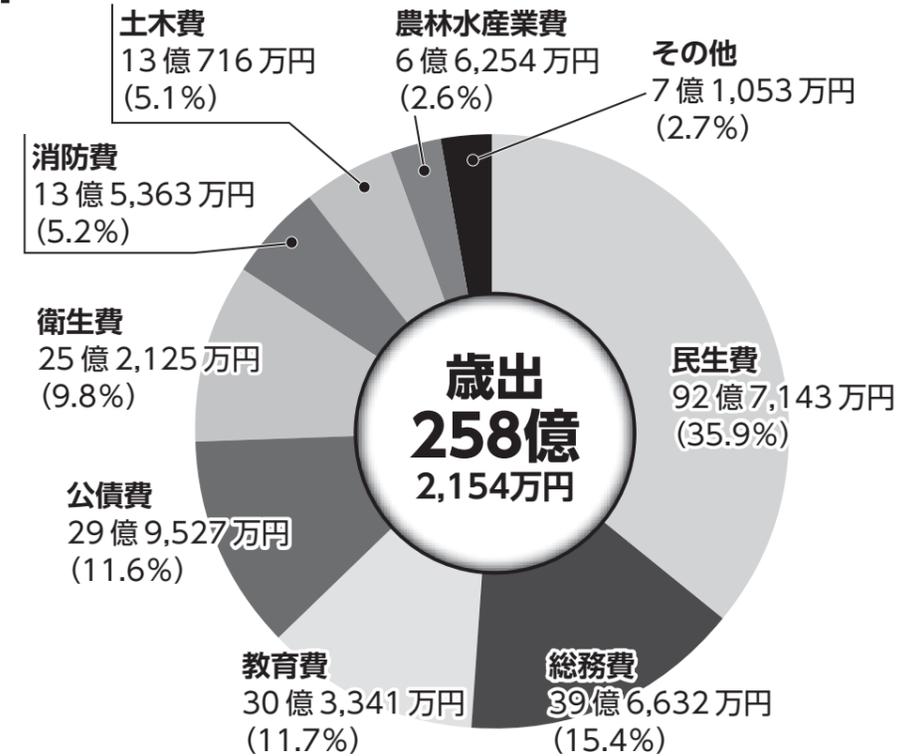
翌年度事業の財源に使われるほか差額の1/2以上は財政調整基金(自由に使える市の貯金)に積み立てられます。
令和3度末の財政調整基金残高は12億161万円で前年度末3億7,937万円から8億2,200万円ほど上積みできました。

市の決算の状況をやさしく説明した「わかりやすい決算書」を作成しました。
市ホームページでご覧になれます。



《歳出》

一般会計は、福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。



用語の説明

- 民生費**…障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
- 総務費**…財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金
- 教育費**…学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
- 公債費**…市が借り入れた借金などの元利償還金
- 衛生費**…ごみ処理、環境保全、コロナのワクチン接種などのために使われるお金

公営企業会計

地方公営企業法が適用される事業として区別されます。
水道事業・病院事業・下水道事業を行う会計です。



企業会計名	収入	支出	
水道事業	収益的収支	22億8,901万円	21億8,701万円
	資本的収支	1億7,807万円	8億4,181万円
病院事業	収益的収支	5億3,071万円	5億3,071万円
	資本的収支	8,645万円	1億7,343万円
下水道事業	収益的収支	15億6,285万円	15億608万円
	資本的収支	12億46万円	17億687万円

※資本的収支の差は、各企業会計で留保している資金で対応しました。

特別会計

特定の収入で特定の事業を行うとき、その収支を明確にするために設置する会計です。



区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	76億846万円	75億9,993万円
介護保険事業	66億2,474万円	64億6,751万円
後期高齢者医療事業	8億6,513万円	8億6,388万円

市債現在高

市の借金

市債(学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金)の令和3年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で420億4,573万円。地方交付税として算入される額を除くと、市が実質的に負担する額は203億9,308万円で、全体の48.5%となっています。

会計名	令和3年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市の実質負担額(1)-(2)	市の実質負担割合
一般会計	266億793万円	163億4,534万円	102億6,259万円	38.6%
水道事業会計	50億7,453万円	2億1,075万円	48億6,378万円	95.8%
病院事業会計	3億5,224万円	1億3,058万円	2億2,166万円	62.9%
下水道事業会計	100億1,103万円	49億6,598万円	50億4,505万円	50.4%
合計	420億4,573万円	216億5,265万円	203億9,308万円	48.5%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は54位と最下位、将来負担比率は52位です。
市の財政はまだまだ厳しい状況です。

▶公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	12.76%	20.0%
▶一般会計の赤字割合			
連結実質赤字比率	—	17.76%	30.0%
▶市の全ての会計の赤字割合			
実質公債費比率	12.0%	25.0%	35.0%
▶借金の返済がどれ位負担になっているか			
将来負担比率	92.8%	350.0%	
▶将来世代にツケを先延ばししていないか			